

本年 5 月 17 日に日之影町国民健康保険病院院長を拝命しました上田修三と申します。内科診療を担当しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、中嶋前院長のお誘いを受け平成 13 年 6 月より当院に勤務しております。難しい経営と病院管理のことは院長任せにしてのんびりと惰眠をむさぼって参りました。今後も呑気に過ごすつもりでおりましたところ、青天の霹靂とはまさにこのこと、突然 10 日前に院長を命ぜられうろたえております。今後しばらく、私がこの病院の舵取りをして行かねばならないのですが、船の位置や目的地、速度も知らず、あわてて船長ならぬ院長の職務内容を勉強しているところです。この原稿が初仕事ですが、正確な数値や知識に裏打ちされたものではありません。どうぞ御容赦ください。

在職医師は 4 人で、2 名の外科医と整形外科医、内科医です。自治医科大学出身の先生方に長い間支援していただきましたが、現在は全員が宮崎大学医学部卒業生で、県内の僻地病院としては珍しい事ではないでしょうか。

当院は宮崎大学第二外科の関連病院として発展してきました。十数年以上も前より第二外科医局より医師の派遣が行われており、歴代の院長はじめ多くの先生方が赴任され日之影の医療を支えてられました。現在も優秀な 2 名の外科医が在任されており救急患者

と重症患者の受け入れに積極的に対応していただき当院の屋台骨を支えていただいています。週末や年末年始には当直医を派遣していただいています。新臨床研修システム導入により全国の病院で医局派遣医師の引き上げが噂される最近の厳しい情勢にもかかわらず、引き続き御支援をいただいております。大変ありがたく思っております。

日之影町は延岡市より車で 45 分ほど山の中に入った所にあり、昭和 30 年代前半には人口は約 2 万人でした。現在は約 5 千人と減少し、年間出生数はわずか 40 人あまりで、他の中山間地の町村と同様に人口流出による過疎化と高齢化が大きな問題となっています。

「ひのかげ」と言うとおり町の中心部は日照時間の短い谷間にありますが、「日之影」の本当の意味は「光がさすところ」という意味だそうです。天照大神が天の岩戸にお隠れになり、困った神々の計略によって岩戸がこじ開けられた時、漏れ出た一筋の光が射したところが今の日之影町だったそうです。私は町も病院も明るくなるようなこの言い伝えが好きです。

本院は町内で唯一の医科の診療施設でありますので課せられた業務は日常診療、保健、福祉、行政など非常に広範囲に及んでいます。診療内容はプライマリケア全般で、しばしば個人の能力を超えます。医師 4 人で協力し可能な限り院内で対応できるように努力し

ています。診断治療が困難で我々の手に余るときには延岡市や高千穂町の医療機関にお願いしています。県立延岡病院と高千穂町立病院の先生方、延岡市医師会と西臼杵郡医師会の先生方には、平素よりご多忙にもかかわらず御指導いただき、緊急の患者様や転院の必要な重症の患者様にも快く対応していただきこの場を借りてお礼申し上げます。これからもなにとぞよろしくお願い申し上げます。

日之影町の真ん中を延岡から熊本へ通じる国道が貫いていますが、これに直交するように、溪谷沿いの道が数多くあり山奥の集落に至っています。そのいくつかは峠を越え、諸塚、北郷、大分県の宇目へと通じています。これらの集落から病院まで約1時間あまりかかる所もあり通院や救急患者搬送には大きな障害となっています。119番通報には町の救急車が出動して急患を当院へ搬送する事になっています。依頼者宅が遠方の場合、病院に到着するまでにかなりの時間を要することがあり、今後の検討課題です。自分で車を運転されない高齢の患者様方の通院の便宜をはかるため、町は僻地患者輸送バスを日替わりルートで運行しています。大分との県境に近い見立地区には、病院より医師と看護師が二週間毎に巡回診療に出向き慢性疾患の診療や、感冒、腰痛、膝痛など急性の軽症疾患にも対応しています。採血、心電図、注射、関節穿刺程度の処置は

現地で行います。当院では介護保険関連サービスにも力を入れています。当院は介護保険の定める居宅介護支援事業所をかねており専従職員として介護支援専門員と訪問看護師の2名を配置しています。病院リハ室の理学療法士を加えた3人が介護保健サービスを提供するほか、積極的にケアプランの作成も行っています。在宅介護を病院が率先して強力に支援することは、病状の安定した入院患者様に安心して退院していただける環境を作りだし、本来不要な社会的入院者を減らす効果があると考えています。機能障害のため外出することができず通院が困難な患者様には、医師が定期的な往診を行っており常時十数人の利用があります。介護に従事されている御家族と患者様には安心していただけて、我々にとっても患者様方と良い人間関係を構築できることも多く、今後とも取り組んで行くつもりです。毎月、高齢者連絡調整会議が院内で行われており、介護保険サービス事業者、居宅介護支援事業所、保健師、病院スタッフが情報を共有し、時には事例検討を自由な雰囲気で行っています。我々が気づく前に、患者様のわずかな変化を発見して報告していただくこともあり有用です。定期的な会合と会話を通して得られる人脈と信頼は新規患者獲得につながってゆくものと期待しています。

前院長はじめ町関係者の方々の御尽力により 20 年来の願望であった新病院が平成 15 年 4 月に誕生し、すべてに広く、清潔で、安全

になりました。

平日の外来診療開始時間は午前 8 時 15 分とやや早めですが、早起の高齢者の患者様方にはおおむね好評です。町民の皆様に身近に感じていただける病院作りにはこのような配慮も重要と考えています。

まとまりのつかぬ内容となってしまう恐縮ですが以上をもって
当院の紹介とさせていただきます。地元に密着し、町民が気楽に来院できる、親切で頼っていただける病院を目指し職員一同努めて参りますのでこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。